

みずほCustomer Desk Report 2022/09/01 号(As of 2022/08/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	138.66
TKY 9:00AM	138.78	1.0022	139.02	1.1666	0.6854		
SYD-NY High	139.00	1.0079	139.71	1.1693	0.6904		
SYD-NY Low	138.28	0.9972	138.30	1.1599	0.6834		
NY 5:00 PM	138.96	1.0053	139.69	1.1622	0.6844		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	31,510.43	▲ 280.44	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%		
NASDAQ	11,816.20	▲ 66.93	日本10年債	0.2200%	0.0000%		
S&P	3,955.00	▲ 31.16	米国2年債	3.4940%	0.0371%		
日経平均	28,091.53	▲ 104.05	米国5年債	3.3517%	0.0817%		
TOPIX	1,963.16	▲ 5.22	米国10年債	3.1955%	0.0846%		
シカゴ日経先物	27,855.00	▲ 70.00	独10年債	1.5320%	0.0260%		
ロンドンFT	7,284.15	▲ 77.48	英10年債	2.7960%	0.0935%		
DAX	12,834.96	▲ 126.18	豪10年債	3.6250%	▲0.0260%		
ハンセン指数	19,954.39	5.36	USDJPY 1M Vol	11.60%	▲0.33%		
上海総合	3,202.14	▲ 25.08	USDJPY 3M Vol	11.18%	▲0.10%		
NY金	1,726.20	▲ 10.10	USDJPY 6M Vol	10.81%	▲0.08%		
WTI	89.55	▲ 2.09	USDJPY 1M 25RR	▲0.08%	Yen Call Over		
CRB指数	290.41	▲ 3.17	EURJPY 3M Vol	11.85%	▲0.17%		
ドルインデックス	108.70	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	11.80%	▲0.10%		

東京	東京時間のドル円は138.78レベルでオープン。オープン後ほどなくしてつけた138.79を高値に、その後は軟調推移。月末の売りリローに加え、中国国営メディアの人民元相場に対するコメントを背景とした対ドルでの人民元買いにより、じりじりと値を下げ一時138.32まで下落。その後引けにかけて小幅に値を戻し、138.48レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ユーロドルは下落した。1.0028レベルでオープン。ユーロドルの軟調地合いに変化なく再びハリティーを下抜けた。8月ユーロ圏CPIが前年同月比9.1%と過去最高を更新し9月8日に開催されるECBでの75bpの大幅利上げ観測が強まつた。しかし、利上げが実施された場合の欧州景気に対する悪影響が懸念され安値0.9972を付け1.0003レベルにてニューヨークへ渡った。ドル円は138.48レベルでオープン。ユーロドルでのドル買いや日米金利差拡大予想継続から138.88まで買われ138.75レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は138円台後半でスタート。月末の調整売りが重しとなり、138.32まで下落。しかし、日本と米国の金融政策の方向性の違いを意識した買いは根強く、欧州時間で下落分をほぼ取り戻し、138.75レベルでNYオープン。朝方は米8月ADP雇用統計が予想を下回ったことから売りで反応し、138.48まで下落。しかし、金曜日に米国8月分の非農業部門雇用者数や失業率等の重要指標の発表を控える中、売りはすぐに一巡し、138.88近辺まで買戻される。その後、ロンドンフィギングにかけてドル売りが強まり安値の138.45まで反落するが、次第にユーロの買い戻しで上昇したユーロ円に連れ高となり、再び買戻し戻された。引き続き明確な円買い材料が見当たらない中、午後も底堅い推移が継続。終盤に米長期金利が約2カ月ぶりの水準となる3.19%台をつけるとドル円の買いが強まり、139.00をタッチし、結局、138.96レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.00レベル前半でスタート。欧州時間ではユーロ圏8月CPIが予想を上回るが、ECBによる早期利上げ以上に景気後退懸念が台頭したためか、売りが強まり一時0.9972まで下落。売り一巡後、1.0003レベルでNYオープン。朝方は0.9982まで下落する場面もあったが、ロンドンフィギングにかけてユーロ買いが強まる1.0079まで急伸。一巡後は1.0050近辺で小動き。終盤は米金利上昇を受けてドル高が進むが、同時にユーロクロスが堅調堅調に推移していたことがユーロドルの下値をサポート。結局、1.0053レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・多川

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	7月 1.0%/-1.8%	-0.5%/-2.4%
	10:30	中 製造業PMI	8月 49.4	49.2
	10:30	中 非製造業PMI	8月 52.6	52.3
	18:00	欧 CPI速報値(前年比/前月比)	8月 9.1%/0.5%	9.0%/0.4%
	18:00	欧 コアCPI・速報	8月 4.3%	4.1%
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 132k	300k

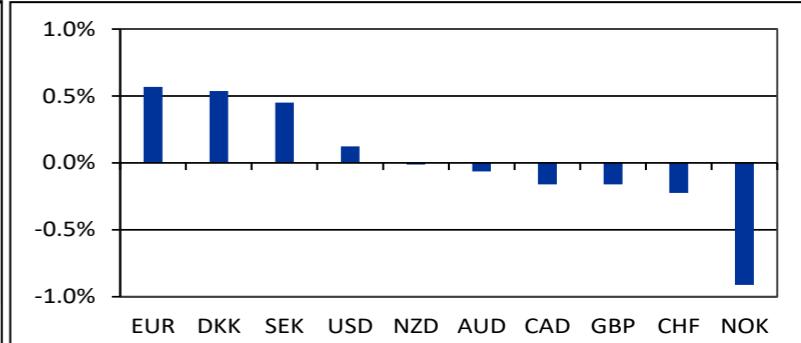
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月1日	15:00	独 小売売上高(前月比)	7月 -0.1%	-1.5%
	18:00	欧 失業率	7月 6.6%	6.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	27-Aug 248k	243k
	23:00	米 建設支出(前月比)	7月 -0.2%	-1.1%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 51.9	52.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.70-139.80	0.9980-1.0100	139.00-140.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下値堅く、じわじわと上昇する展開。東京時間は月末のドル売り優勢の流れに138円半ばを割り込む場面もあったが、海外時間に発表されたユーロ圏CPIの上昇を受けて欧米金利が上昇すると下げ止まる。ドル円は月末LNFXにかけてドル売りが進む中で一旦頭重くなるものの、フロー一巡後は金利上昇に連れて底堅い動きとなり、NY時間終盤には139円台を回復。ユーロは次回会合での75BP利上げ織込みが進む中で買い戻し優勢となった。本日のドル円は堅調な推移を予想。明日の米雇用統計を控えて動きづらいが、先週のジャクソンホール会議以降もFED高官はタガ派発言を繰り返しており、ドルが強含みやすい流れに変化はない。先月の高値にかけて上値が重くなりそうだが、米2年金利が3.5%を超えて上昇てくると、高値を抜け上昇に弾みがつく可能性が高い。